

キレイ！効率的！

クリニックの知恵

整理や収納を見直したり、システムを
カイゼンしたことで
生まれ変わった医院の知恵を
ご紹介します。

02

カイゼンサポーター



小原啓子
株式会社デジタルアップ
代表取締役

藤田昭子
株式会社デジタルアップ
歯科衛生士

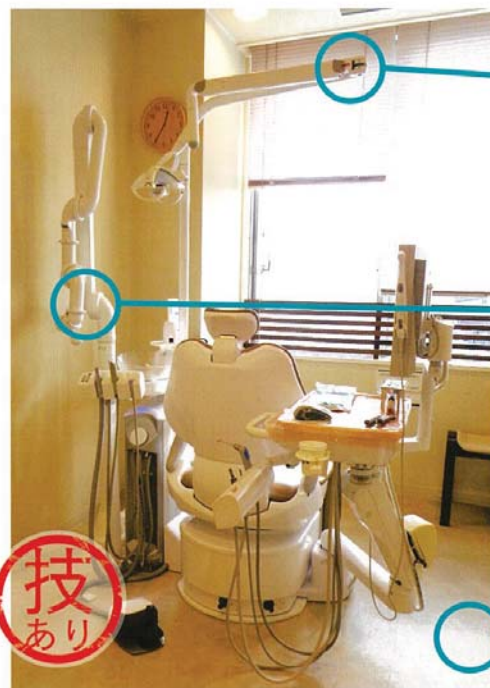


カウンセリングルームは
座る位置にも配慮

患者さんが上座(奥)、スタッフは下座(扉側)
に座るのは、おもてなしの他に、万が一の時、
安全のためにスタッフがすぐに退室できるよ
うという考えによるもの。

見える化することで
患者さんもスタッフも
分かりやすく動きやすい

赤マークで位置を分かりやすく



技あり

赤いマークを付けると一目で位置が分かる！
「だいたいこれぐらいでいいだろう」ではなく、マークを付けて位置を統一している。いつでも基本を守る体制に。



ライトのアームが水平になると、テープが
一文字に合わさる。



口腔外バキューム。目印を合わせると、アーム
がまっすぐに立つ。



ドアの取っ手は、触れてよい場
所を赤いマークで示し、清潔な
状態を保っている。

継続には見える化！

職場カイゼン中の医院は、他の医院と
連携を取れるようにしています。情報交
換や見学をすることで、新しいカイゼン
方法が生まれたり、スピードアップした
りと良い影響が生まれやすくなります。
また、他院の目が入ることによって緊張

感が持続され、ルールを継続しやすくな
ります。これも「見える化」の一つです。
いくら良いアイデアでも、習慣化され
なければ意味がありません。そのため
にも、一瞬で理解でき、効率良く働けるよ
うに「見える化」することが大切です。

今回の
カイゼン医院

カイゼン歴5年

医療法人T&K
坂井おとなこども歯科
宮城県

院長 坂井清隆
歯科医師 3人
歯科衛生士 8人
受付 4人

ユニット：7台

